

第28回災害対策本部会議における知事コメント

令和8年熊本地震の発災から、本日で1カ月となりました。改めまして、お亡くなりになりました方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げたいと思います。まだまだ厳しい暑が続く中、被災者支援や復旧・復興に御尽力いただいている全ての皆様に心より感謝申し上げたいと思います。

昨日、政府において「被災者の生活再建となりわい再建の支援パッケージ」を決定していただきました。

このパッケージは、被災地の実情に寄り添った内容であると大変評価しております。このように充実した内容となりましたのは、高市総理をはじめ、多くの大臣の皆様に熊本に足を運んでいただいたこと、そして何より、今日お集りの政府現地対策本部の皆様方が、熊本の状況や被災者の声を、政府に直接届けていただいたおかげであると考えております。心より感謝申し上げます、ありがとうございました。これで私たちも、被災者の生活再建に向けた支援や中小事業者のなりわい支援、そして10年前の熊本地震の被害額を超える公共土木施設の復旧等に、これまで以上に躊躇なく取り組んでいくことができます。

さらに本日は、国の予備費から1,478億円を支出することを閣議決定していただきました。重ねて、深く感謝申し上げます。

そして、被災された皆様の生活を支えるうえでひときわ重要な水道について、発災後、最大で10万8千戸あった断水が、本日、解消したとの報告がありました。

これまで御尽力いただきました、国土交通省をはじめ、日本水道協会、そして全国津々浦々からお越しいただいた技術者の皆様方に、心より感謝申し上げます。

また、昨日九州新幹線の運行が、9月18日から全線再開となる予定であることが発表されました。被災地の支援に来ていただく方々の移動の円滑化はもとより、地震により大きな打撃を受けている観光振興の面からも大きな後押しになると期待しております。JR九州の皆さん、そして関係する皆様、ありがとうございました。

最後に、車中泊を続けていらっしゃる方々に、改めてのお願いがございます。

車中泊も、避難生活の選択肢の一つであると認識しておりますが、長期間にわたる場合、エコノミークラス症候群など健康面への影響が懸念されるところでございます。

健康面の悩みにつきましては、県の方で開設しました「車中泊健康相談ダイヤル」に御相談いただきたいと思いますし、心身の負担の軽いホテル等への避難、これについても移行をご検討頂きたいと思います。また、避難の原因となっている困りごとについては、自らで抱え込むことなく、市町村が設置する相談窓口にぜひ御相談いただきますようお願いを申し上げます。

発災から1カ月たち、復旧・復興へ向けた歩みは着実に進んでいます。多くの方々に熊本を支えていただいていることに改めて感謝を申し上げながら、引き続き、皆で一丸となって頑張っ